

## 地理歴史・公民科

教科名	地理歴史科	科目名	日本史B
科目の目標	(1) 歴史に対する興味・関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2) 歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	2年	類型	文系・理系共通
単位数	4単位	履修形態	選択
教科書	詳説日本史B(山川出版社)	副教材等	図説日本史通覧(帝国書院)

### ①学習の目標

- (1) 人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
- (2) 自国の歴史を正しく理解し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

### ②学習内容と授業の進め方

- (1) 教科書の内容を中心に、各自のノートに要点整理をしながら、日本の歴史の基本事項を学ぶ。
- (2) 授業中に副教材(図説・史料集)を多く使用する。また自分で資料を活用し考察する課題にも取り組む。
- (3) 各单元ごとにプリントを配布する。授業で行った内容の確認を行う。

### ③学習に当たっての留意点

- (1) 歴史は、興味深いものであると同時に正しい歴史観が社会を見る目を養い、現代社会の諸問題の解決に重要な意味を持つことは言うまでもない。こうした正しい歴史理解に加えて、本校における日本史は、多くの生徒にとってセンター試験の必須受験科目であるという現実は無視することができない。
- (2) 本校の教育課程では、2年生か3年生で必ず世界史Bを選択させ、世界史Bを選択しない学年では日本史Bまたは地理Bを選択させることになっているが、各科目の授業内容の構成上、受験での使用科目は2年生で選択した科目となる。
- (3) 本校では、センター試験、さらに一部の大学の個別試験に対応するために、教科書の内容を再編集しながら授業を行う。実際に、2年生の4単位では受験に対応するためには内容的に不十分なため、2年生では近世までの日本史を中心に学習する。
- (4) 2年生で日本史を選択した生徒は、3年生の世界史の授業時間の中で、日本史の近現代史を各科目の学習と並行して学ぶ。こうして、日本史の受験に対応していく能力を身に付けると同時に、2、3年生を通して社会科学の方法論を学んでいく。

### ④評価の観点

- (1) 関心・意欲・態度  
【関】 日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国家・社会の一員としての責任を果たそうとしているか。【関】
- (2) 思考・判断  
【思】 日本の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って多角的に我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化をふまえて公正に判断しているか。【思】
- (3) 資料活用の技能・表現  
【資】 日本の歴史についての諸資料を収集・活用することを通して歴史的な事象を追求する方法を身につけ、考察した過程や結果を適切に表現できるか。【資】
- (4) 知識・理解  
【知】 日本の歴史についての基本的・発展的な事柄を世界史的視野に立って理解し、その知識を身につけているか。【知】

### ⑤評価の方法

定期考査の成績とともに、学習活動への参加態度とあわせて総合的に評価する。

## ⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)	
4	第1章 日本文化のあけぼの	1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立	<p>・古代の人々の生活の変化、国家の成立と推移及び文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。整理ノートの確認と授業態度から評価する。【関】</p> <p>・諸資料を活用し、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。レポート提出あるいは発表する。【資】</p> <p>・課題を見だし、東アジア世界の動きとも関連付けて多角的に考察できるか。また、日本列島形成から律令国家の成立・展開、藤原氏全盛時代までの展開を理解し、知識を身につけているか。定期考査の素点で評価する。【思】【知】</p>	
5	第2章 律令国家の形成	3 古墳とヤマト政権		
6		1 飛鳥の朝廷 2 律令国家の成立 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安朝廷の形成		
7	第3章 貴族政治と国風文化	1 摂関政治		前期中間考査
8		2 国風文化 3 荘園と武士		
9	第4章 中世社会の成立	1 院政と平氏の台頭		<p>前期末考査</p> <p>・武家政権の成立から戦国大名の時代にいたる武家社会の進展と文化の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。整理ノートの確認と授業態度から評価する。【関】</p> <p>・諸資料を活用し、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。レポート提出あるいは発表する。【資】</p>
10		2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化		
11		第5章 武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化	
12	4 戦国大名の登場		後期中間考査	
1	第6章 幕藩体制の確立	1 織豊政権	<p>・織豊政権、幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。整理ノートの確認と授業態度から評価する。【関】</p> <p>・諸資料を活用し、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。レポート提出あるいは発表する。【資】</p> <p>・課題を見だし、国際関係の変化とその影響を関連付けて多角的に考察できるか。また、信長・秀吉・家康を中心とした天下統一事業の背景・経過・結果を理解するとともに、江戸幕府の推移と、政治・社会・民衆の生活の変化を理解し、知識を身につけているか。定期考査の素点から評価する。【思】【知】</p>	
2		2 桃山文化 3 幕藩体制の成立		
3	第7章 幕藩体制の展開	1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化		
		第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	後期末考査